

SWEEP

[無料公開用 抜粋版]
Digital Health:
Quarterly Trend Report

2023Q4



本レポートの位置づけ

無料公開用は
Quarterly Trend Report
の一部を抜粋したもの

発行レポート

Weekly Flash Report

Monthly Highlight Report

Quarterly Trend Report

レポートで
得られること

1週間における調達実績の確認と、注目すべきスタートアップのビジネス内容の分析結果を踏まえ、Insightとして自社ビジネスに活かすべき点を簡潔に把握できる

週次レポートの積み上げとして、注目すべきハイライトを効率的に把握できる。また、注目すべき分野におけるスタートアップのユニークネスやビジネスモデル分析を把握できる

四半期の調達動向や推移を確認できる。また、四半期における調達動向が盛んな分野の深掘り分析や、主要なトピックを学べ、更に自社ビジネスに活かせる有望な事業機会の情報を得られる

レポートの
コンテンツ

- Weekly Update
- 調達実績
- 注目スタートアップ分析
- 主要トピック解説
- Weekly Insight

- 月次アップデート
- 資金調達実績トレンド
- 注目分野のスタートアップ分析

- Quarterly Update
- 資金調達実績トレンド
- 注目分野の深掘り分析
- ターゲット大企業の投資動向分析
- 四半期主要トピック解説
- 有望な事業機会に関する考察
- Quarterly Insight

*Source: 各種データベース+公開情報より弊社作成

「デジタルヘルス」の対象範囲

本レポートでは、個人向け医療関連サービス×デジタル技術活用、を「デジタルヘルス」の対象範囲とする

提供対象

個人（健康者・患者）に対してパーソナルデバイス等を通じて直接的に提供する医療関連サービス

医療機関等に対して業務の効率化や臨床現場における医療サービスの機能補完・機能向上、新たな治療手段の提供を図るサービス

提供手段

デジタル技術を健康維持・増進、及び医療に活用して、その効率や効果を高めるサービス

（デジタル技術も併用しつつ）主としてロボティクスやバイオサイエンス等の技術を健康維持・増進、及び医療に活用して、その効率や効果を高めるサービス

デジタルヘルス

デジタル技術を活用して、個人に向けてパーソナルデバイス等を介して直接的に提供する医療及び周辺サービス、を対象範囲とし、以下4分野を含む

「A. 健康管理・ウェルネス増進」、「B. テレヘルス」、「C. デジタルセラピューティクス（DTx）」、「D. デジタルケア管理」

- 医療機関向け業務効率化ソリューション、AIによる診療支援システム、入院患者向け管理システム など

- 革新的なヘルスケアデバイス（パワーダスーツ、介護用機器、ほか） など

- バイオテック（創薬）、先進医療機器 など

構成

■ エグゼクティブサマリ	5
■ デジタルヘルス業界の分野一覧	6
■ デジタルヘルス業界の資金調達実績： 全体トレンド	8
■ デジタルヘルス業界の資金調達実績： ターゲットVC動向の分析	10
■ 注目分野のスタートアップ事例	
- Forward	11
- Vida Health	12
- Headway	13
- Lottie	14
■ ターゲット大企業の投資動向	15
■ お問い合わせ先	19

エグゼクティブサマリ

デジタルヘルス業界の資金調達実績：全体トレンド

対象Qでのデジタルヘルス業界における世界での調達額は\$1.71B。うち、A. 健康管理・ウェルネス増進は\$0.30B（18%）、B. テレヘルスは\$0.37B（21%）、C. デジタルセラピューティクス（DTx）は\$0.12B（7%）、D. デジタルケア管理は\$0.92B（54%）とD. デジタルケア管理の割合が大きい

対象Qの調達額\$1.71Bのうち、D-1. ケア方法案内の割合が大きい（26%）。全体の調達額は、前Qの\$2.07Bから減少している（▲21%）

デジタルヘルス業界の資金調達実績：ターゲットVC動向の分析

D-1. ケア方法案内及びD-4. ケア管理は、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が高い。一方、一般的なA-1. 健康管理・ウェルネス増進及びD-3. オンライン薬局は、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が低い

注目分野のスタートアップ事例

B-2. 遠隔医療：Forwardは、セルフサービス型オンデマンド診療所を提供する

B-2. 遠隔医療：Vida Healthは、企業の従業員にビデオチャットによるケアサービスを提供する

D-1. ケア方法案内：Headwayは、メンタルヘルスの患者とセラピストを結ぶマッチングサービスを提供する

D-4. ケア管理：Lottieは、高齢者の介護者に向けた無料オンラインプラットフォームを提供する

ターゲット大企業の投資動向

対象Qでは、UnitedHealthcare、Googleの関連企業が投資している

注：本レポートにおけるデジタルヘルスの対象分野に含まれないものとして、Medtech、バイオ医薬品、ヘルスケアIT、製薬技術がある。これらはそれぞれで相応の大きさのマーケットを持つため、本レポートとは別とする

デジタルヘルス業界の分野一覧（1/2）

大分野	中分野	中分野定義	企業例
A. 健康管理・ウェルネス増進 健康管理やウェルネス増進に関するデジタルサービスを提供する企業	A-1. 一般的な健康管理・ウェルネス増進	一般的な健康管理やウェルネス増進に関するデジタルサービスを提供する企業	
	A-2. 身体機能の補完・拡張	身体障害を持つ方に向けた、身体機能の補完・代替・拡張に関するデジタルサービスを提供する企業	
B. テレヘルス 遠隔での診療・診断・治療を提供する企業	B-1. 在宅検査	自宅での健康状態・疾病の検査に関するデジタルサービスを提供する企業	
	B-2. 遠隔医療	遠隔での診療・診断を提供する企業総合診療やかかりつけ医の支援、遠隔診療による診断や処方箋に従った処方、メンタルヘルスやビヘイビアヘルスに関するデジタルサービスを提供する企業	
C. デジタルセラピューティクス（DTx） 疾患の治療やケアに関するデジタルサービスを提供する企業	C-1. 慢性疾患	慢性疾患（長期にわたり、ゆっくりと進行する疾患）の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	
	C-2. 神経疾患・精神及び行動障害	神経疾患・精神および行動障害の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	
	C-3. その他疾患	その他疾患の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	

注：本レポートにおけるデジタルヘルスの対象分野に含まれないものとして、Medtech、バイオ医薬品、ヘルスケアIT、製薬技術がある。これらはそれぞれで相応の大きさのマーケットを持つため、本レポートとは別とする

デジタルヘルス業界の分野一覧 (2/2)

大分野	中分野	中分野定義	企業例
D. デジタルケア管理 疾患のケア管理に関するデジタルサービスを提供する企業	D-1. ケア方法案内	患者の医療機関予約、適切なケア体制の提案・調整、ケアを受ける手続き等を支援するデジタルサービスを提供する企業	
	D-2. 医療・健康データ管理	個人の健康や健康リスクに関する情報の一元管理、医療機関との連携に関するサービスを提供する企業	
	D-3. オンライン薬局	オンライン薬局に関するデジタルサービスを提供する企業	
	D-4. ケア管理	疾患のケア管理に関するデジタルサービスを提供する企業	
	D-5. 医療給付案内 (医療保険加入・申請・給付)	企業、従業員個人・家族に向けた、医療保険の加入・申請・給付の案内、手続きサポートに関するデジタルサービスを提供する企業	

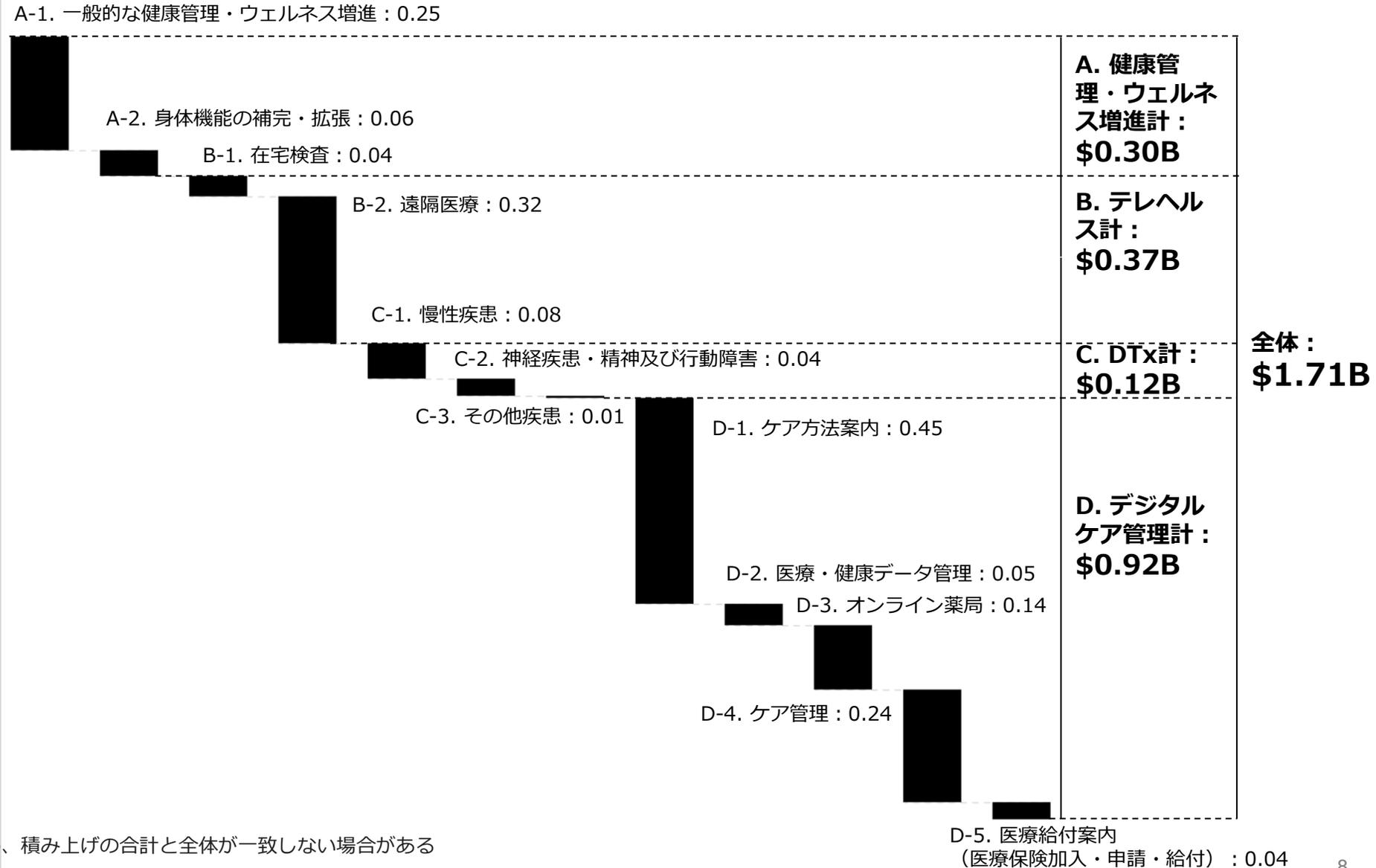
注：本レポートにおけるデジタルヘルスの対象分野に含まれないものとして、Medtech、バイオ医薬品、ヘルスケアIT、製薬技術がある。これらはそれぞれで相応の大きさのマーケットを持つため、本レポートとは別とする

デジタルヘルス業界の資金調達実績：全体トレンド（対象Q調達額）

対象Qでのデジタルヘルス業界における世界での調達額は\$1.71B

デジタルケア管理が\$.092Bと最も割合が多い

(単位：\$B)



注：個別の分野は四捨五入処理を行っているため、積み上げの合計と全体が一致しない場合がある
Copyright © 2024 dots. and, Inc. All rights reserved.

デジタルヘルス業界の資金調達実績：全体トレンド

対象Qの投資額は\$1.71Bでありデジタルケア管理の割合が大きい。前Qの\$2.07Bから減少

デジタルセラピューティクス（DTX）では、神経疾患・精神および行動障害は前Qに比べ調達額が増加

健康管理・ウェルネス増進、テレヘルスでは全体として減少トレンドである

大分野	中分野	調達額			対象Qにおける1社あたり調達額		対象Q構成比
		前Qと対象Qにおける調達額 [\$B]	変化	対象Qにおける1社あたり調達社数 [社]	1社あたり調達額 [\$M/社]		
		前Q	対象Q				
A. 健康管理・ウェルネス増進	A-1. 一般的な健康管理・ウェルネス増進	0.37B	0.25B	↓	52	4.79M	15%
	A-2. 身体機能の補完・拡張	0.32B	0.06B	↓	2	27.50M	3%
B. テレヘルス	B-1. 在宅検査	0.08B	0.04B	↓	16	2.80M	3%
	B-2. 遠隔医療	0.44B	0.32B	↓	52	6.19M	19%
C. デジタルセラピューティクス（DTx）	C-1. 慢性疾患	0.14B	0.08B	↓	6	12.79M	4%
	C-2. 神経疾患・精神及び行動障害	0.02B	0.04B	↑	9	4.05M	2%
	C-3. その他疾患	0.05B	0.01B	↓	3	2.06M	0%
D. デジタルケア管理	D-1. ケア方法案内	0.12B	0.45B	↑	34	13.23M	26%
	D-2. 医療・健康データ管理	0.09B	0.05B	↓	10	4.71M	3%
	D-3. オンライン薬局	0.20B	0.14B	↓	7	20.02M	8%
	D-4. ケア管理	0.19B	0.24B	↑	15	16.30M	14%
	D-5. 医療給付案内（医療保険加入・申請・給付）	0.06B	0.04B	↓	6	6.54M	2%
		\$2.07B	\$1.71B	↓	212	\$8.07M	100%
						(平均)	

注：個別の分野は四捨五入処理を行っているため、積み上げの合計と全体が一致しない場合がある
Copyright © 2024 dots. and, Inc. All rights reserved.

デジタルヘルス業界の資金調達実績：ターゲットVC動向の分析

ケア方法案内及びケア管理は、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が高い

一方、一般的な健康管理・ウェルネス増進及びオンライン薬局は、全体の動向と比較し、ターゲットVCが投資家として関与した案件での比率が低い

大分野	中分野	ターゲットVCが投資家として関与した案件		全案件		構成比ギャップ
		対象Qにおける調達額 [\$M]	構成比 (a)	構成比 (b)	構成比 (a-b)	
A. 健康管理・ウェルネス増進	A-1. 一般的な健康管理・ウェルネス増進	32.6M	6%	15%	▲8%pt	
	A-2. 身体機能の補完・拡張	0M	0%	3%	▲3%pt	
B. テレヘルス	B-1. 在宅検査	0M	0%	3%	▲3%pt	
	B-2. 遠隔医療	113.5M	22%	19%	3%pt	
C. デジタルセラピューティクス (DTx)	C-1. 慢性疾患	0M	0%	4%	▲4%pt	
	C-2. 神経疾患・精神及び行動障害	0M	0%	2%	▲2%pt	
	C-3. その他疾患	0M	0%	0%		
D. デジタルケア管理	D-1. ケア方法案内	171.0M	33%	26%	7%	
	D-2. 医療・健康データ管理	0M	0%	3%	▲3%pt	
	D-3. オンライン薬局	0M	0%	8%	▲8%pt	
	D-4. ケア管理	195.0M	38%	14%	24%	
	D-5. 医療給付案内 (医療保険加入・申請・給付)	0M	0%	2%	▲2%pt	
		\$512.1M	100%	100%	100%	

注目分野のスタートアップ事例①：Forward

会社名

Forward



設立年

2016年

本社所在地

アメリカ・サンフランシスコ

累計調達額

\$325.0M

対象Qの調達額

\$75.0M

対象Q調達の主要投資家

Abu Dhabi Investment Authority, Founders Fund, Garrett Camp, John Doerr, Khosla Ventures, Samsung NEXT, Tencent

事業内容

会社概要

- Forwardは、ニューヨーク・ロサンゼルス・シカゴ等アメリカの一部地域で、個人にパーソナライズされたプライマリヘルスケアを提供する。同社のセルフサービス型オンデマンド診療所であるCarePodは、予約により任意の時間帯に使用することができ、3Dボディモデルの作成やバイタルモニタリング等の精密検査が可能となる
- 精密検査の結果を医師と共有し総合的な評価を行うことで、個人に合わせたケアモデルを作成する。更に、継続的なモニタリングにより、患者の健康改善を支援する

ビジネス内容

- 月額\$49のサブスクリプションサービスであり、CarePodの使用・85種類以上のバイオマーカーテスト・健康アプリの利用・臨床チームへの相談・処方箋の利用が可能となる
 - アメリカの平均的な健康保険料である月額\$477と比較して1/10程度と非常に安価である。Forwardの会員数の35%はForwardのサービスのみを契約しており、健康保険に入っていない
 - 定額料金制のため、予期せぬ医療費が発生するリスクを軽減でき、透明性高く医療費の管理ができる
- Carepodは、オフィス・ショッピングモール・ジムなど、一般の人々が簡単にアクセスできるエリアに設置され、約12分で精密検査が完了する
 - 装置内に入った後、AIによる音声ナビゲートに従いタッチスクリーンを操作することで、利用したい診断サービスを選択できる



Carepod外観



Carepod内部

注目分野のスタートアップ事例②：Vida Health

B-2. 遠隔医療

会社名

Vida Health



設立年

2014年

本社所在地

アメリカ・サンフランシスコ

累計調達額

\$216.5M

対象Qの調達額

\$28.5M

対象Q調達の主要投資家

Ally Bridge Group,
Canvas Ventures,
General Atlantic, Hercules
Capital

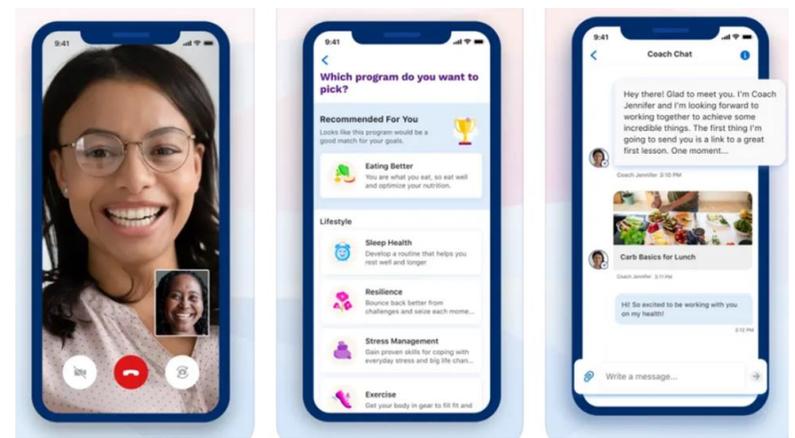
事業内容

会社概要

- Vida Healthは、企業向けに従業員用ケアプログラムを提供する会社である。アメリカに住む糖尿病・肥満・高血圧・うつ病等一つ以上の疾患を持つ患者に向け、ケアプログラムサービスを提供する。身体的疾患と精神的疾患両方に対応しており、患者は、プロバイダー（臨床医・ヘルスコーチ・セラピスト等）とビデオチャットを通じ疾患に合わせたプログラムを作成できる
- Apple Watch・MyFitnessPal（カロリー計算アプリ）・Fitbit（健康管理アプリ）等、100を超える他のデバイスやアプリケーションとのデータ連携が可能である

ビジネス内容

- 法人向けプランでは、バリューベースドプライシングに基づき、サービス利用によって削減できた医療費の一部を企業に請求している。また、保険会社からも手数料を得ている
 - 一例として、企業にとって6か月間で200%のROI（投資収益率）が見込まれ、従業員1人当たり年間最大\$2,040の費用削減（高額な通院・医薬品の使用・食料不足に起因する高額な食費の回避）が期待できる
 - 利用患者のエンゲージメントや満足度が高く、NPS（ネット・プロモーター・スコア：サービスを他人に推薦する指標）は80と高く、6か月後の継続利用率は75%である
- プラットフォームにて選択できる疾患は25種類以上であり、登録されているプロバイダーは数千人に及ぶ
 - 患者は、同時に複数のプロバイダーとコンタクトを取ることができ、必要に応じて担当を変更することもできる
 - ケアプログラムの期間は3~6か月であり、短期間で成果を生み出すことを謳っている



アプリ画面



各疾患の改善数値

注目分野のスタートアップ事例③ : Headway

D-1. ケア方法案内

会社名

Headway



設立年

2018年

本社所在地

アメリカ・ニューヨーク

累計調達額

\$325.5M

対象Qの調達額

\$125.0M

対象Q調達の主要投資家

Accel, Andreessen
Horowitz, Health Care
Service Corporation,
Spark Capital, Thrive
Capital

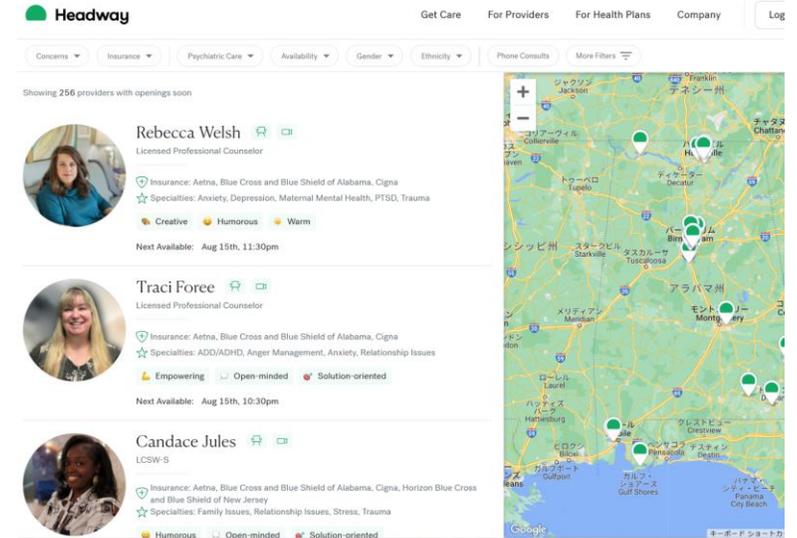
事業内容

会社概要

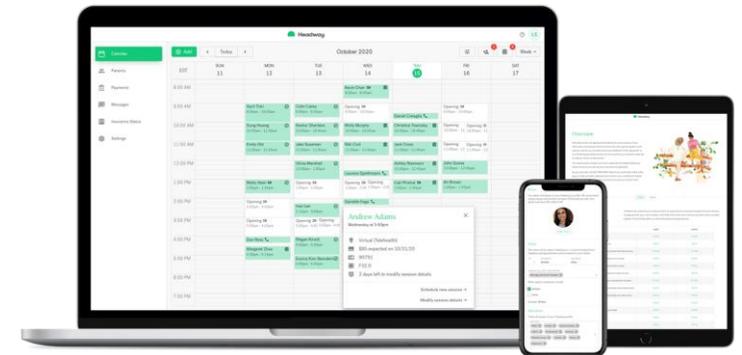
- Headwayは、アメリカ全土におけるメンタルヘルスに苦しむ患者とセラピストを結びつけるマッチングサービスを提供する。保険適用が可能なセラピストサービスのみに限定している。患者は無料でマッチングサービスを利用でき、価格が安く質の高いケアサービスを見つけることが可能となる
- 保険会社と提携し、患者が保険を適用してセラピーを受ける際の手続きを簡素化している

ビジネス内容

- 保険会社からの支払いの一部を手数料として受け取ることで収益を得ているため、患者とセラピストは無料でサービスを利用できる
- プラットフォームには、34,000人のセラピストが掲載され、AetnaやUnitedHealthcare等 40以上の保険会社と提携をしている。予約可能な時間帯や選択肢が、他社の3倍と多い
 - Headwayを通じたセラピスト費用は\$20~\$50であり、保険適用外の場合の費用は\$200~\$300と比べ安価である
- 患者はセラピストを選択後、保険情報を入力することで費用の概算を取得でき、セッション後に料金を請求される
 - NPS（ネット・プロモーター・スコア：サービスを他人に推薦する指標）は93と高水準であり、再利用率は90%を達成している
- セラピストの資格認定（セラピストが保険を適用して診療を行うために必要な手続き）サポートや、保険給付の確認・請求書提出・支払い回収を代行することで、セラピストや患者のコストと対応時間を削減する



セラピスト検索画面



セラピスト向けポータル

注目分野のスタートアップ事例④ : Lottie

会社名

Lottie

設立年

2021年

本社所在地

イギリス・ロンドン

累計調達額

\$31.5M

対象Qの調達額

\$20.0M

対象Q調達の主要投資家

Accel, General Catalyst

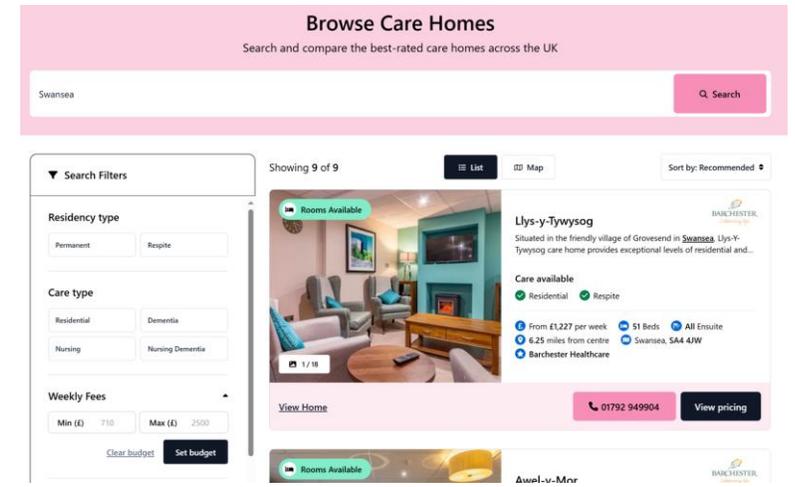
事業内容

会社概要

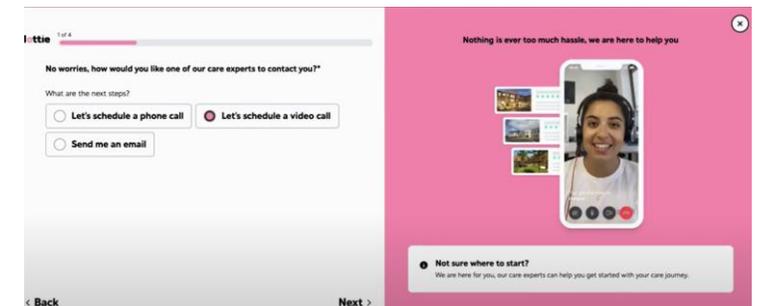
- Lottieは、イギリスで高齢者向けのプロバイダー（介護施設・在宅ケア・老人ホーム）を探す人々をサポートする無料オンラインプラットフォームを提供する。また、ケアに関する資金確保や、ケアソリューションの選定法など、300以上の記事を提供する

ビジネス内容

- シニア向けサービス検索プラットフォームと、企業の従業員向けシニアケアサービス「Seniorcare」の2つを事業の柱としている
 - サービス検索プラットフォームでは、Lottieを通じ利用者とプロバイダー間での契約が成立した場合、プロバイダー側から手数料を受け取る
 - サービス検索プラットフォームには、イギリス全土4,000以上の認定されたコミュニティやプロバイダーが掲載されており、毎月20,000以上の人々がケアサービスの提供元を見つけている
 - 掲載するコミュニティやプロバイダーは、独自の基準を基にした内部スコアリングシステムで厳選している
 - Seniorcareは、企業の従業員に向けた高齢者介護福利厚生ソリューションである。ケアエキスパートによる介護相談や資金調達アドバイス等のサービスを通じて、従業員の生産性を向上させる
 - 一例として、従業員5,000人の企業では、一人当たり年間£848のコスト削減（勤務中の生産性低下・欠勤・退職が回避されることによる）が見込まれ、年間のROI（投資収益率）は2,600%になる
- イギリスのシニア向けサービスサイトの中では、訪問数が最も多く、Trustpilot（レビュー評価アプリ）で4.9/5を達成



施設サーチ画面



Seniorcareの動作画面

ターゲット大企業の投資動向

業界	リーディング企業	対象Qの投資件数	対象Qの主要投資内容
医療保険業界	Kaiser Permanente 	0件	● B-2. 遠隔診療 : Nema Health
	United Healthcare 	1件	
	John Hancock 	0件	
製薬/医療機器業界	Johnson & Johnson 	0件	
IT業界	Amazon 	0件	● B-2. 遠隔診療 ● A-1. 一般的な健康管理・ウェルネス増進 : Allara, Clayful : Signos
	Alphabet 	3件	
	Microsoft 	0件	

デジタルヘルス業界の分野一覧（1/3）

大分野	中分野	小分野	小分野定義
A. 健康管理・ウェルネス増進 健康管理やウェルネス増進に関するデジタルサービスを提供する企業	A-1. 一般的な健康管理・ウェルネス増進 一般的な健康管理やウェルネス増進に関するデジタルサービスを提供する企業	1. 栄養摂取・運動	栄養摂取・運動に関するデジタルサービスを提供する企業（個人向け、法人経由の福利厚生サービスも含む）
		2. 一般的な健康維持	一般的な健康維持に関するデジタルサービスを提供する企業（個人向け、法人経由の福利厚生サービスも含む）
	A-2. 身体機能の補完・拡張 身体障害を持つ方に向けた、身体機能の補完・代替・拡張に関するデジタルサービスを提供する企業	3. 身体障害の介助・身体機能の補完	身体障害を持つ方に向けた、身体機能の補完・代替・拡張に関するデジタルサービスを提供する企業
B. テレヘルス 遠隔での診療・診断・治療を提供する企業	B-1. 在宅検査 自宅での健康状態・疾病の検査に関するデジタルサービスを提供する企業	4. 在宅検査	自宅での健康状態・疾病の検査に関するデジタルサービスを提供する企業
		B-2. 遠隔医療 遠隔での診療・診断を提供する企業総合診療やかかりつけ医の支援、遠隔診療による診断や処方箋に従った処方、メンタルヘルスやビヘイビアヘルスに関するデジタルサービスを提供する企業	5. 総合診療・かかりつけ医
		6. 専門領域における遠隔診療	専門的な領域に関し、遠隔診療による診断や処方箋に従った処方を行うデジタルサービスを提供する企業
		7. メンタルヘルス・ビヘイビアヘルス	メンタルヘルス（精神的な健康）やビヘイビアヘルス（行動や生活習慣による健康）に関するデジタルサービスを提供する企業

デジタルヘルス業界の分野一覧 (2/3)

大分野	中分野	小分野	小分野定義
C. デジタルセラピューティクス (DTx) 疾患の治療やケアに関するデジタルサービスを提供する企業	C-1. 慢性疾患 慢性疾患（長期にわたり、ゆっくりと進行する疾患）の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	8. 慢性疾患（糖尿病除く）	慢性疾患（長期にわたり、ゆっくりと進行する疾患）の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業
		9. 糖尿病	糖尿病の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業
	C-2. 神経疾患・精神及び行動障害 神経疾患・精神および行動障害の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	10. 神経・脳疾患	神経・脳疾患の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業
		11. 精神及び行動障害（うつ病・不安障害）	うつ病・不安障害の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業
		12. 精神及び行動障害（依存症）	アルコール依存症・薬物依存症の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業
	C-3. その他疾患 その他疾患の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業	13. 心臓疾患	専門的な領域に関し、遠隔診療による診断や処方箋に従った処方を行うデジタルサービスを提供する企業
		14. 疼痛・筋骨格疾患	メンタルヘルス（精神的な健康）やビヘイビアヘルス（行動や生活習慣による健康）に関するデジタルサービスを提供する企業
		15. その他デジタルセラピューティクス	その他疾患（がん等）の治療やケアに関するデジタルセラピューティクスソリューションを提供する企業

デジタルヘルス業界の分野一覧 (3/3)

大分野	中分野	小分野	小分野定義
D. デジタルケア管理 疾患のケア管理に関するデジタルサービスを提供する企業	D-1. ケア方法案内 患者の医療機関予約、適切なケア体制の提案・調整、ケアを受ける手続き等を支援するデジタルサービスを提供する企業	16. 医療機関の検索・予約	患者が医療機関・医療チームを検索し、予約するためのデジタルサービスを提供する企業
		17. ケアコーディネーション	患者の状況に合わせて、適切なケア体制の提案・調整を行ったり、ケアを受けるための手続きを支援するなど、包括的に患者に対するケアを管理・支援するためのデジタルサービスを提供する企業
	D-2. 医療・健康データ管理 個人の健康や健康リスクに関する情報の一元管理、医療機関との連携に関するサービスを提供する企業	18. PHR管理	個人の健康や医療に関する情報を一元的に管理し、個人利用・医療機関との連携を可能にするデジタルサービスを提供する企業
		19. 健康リスク診断・管理	健康リスク情報の取得、及び管理に関するデジタルサービスを提供する企業
	D-3. オンライン薬局 オンライン薬局に関するデジタルサービスを提供する企業	20. オンライン薬局	オンライン薬局に関するデジタルサービスを提供する企業
		D-4. ケア管理 疾患のケア管理に関するデジタルサービスを提供する企業	21. AI自己診断・疾患の予兆管理
	22. 介護・高齢者ケア		高齢者本人、及びその家族・介護者に向けた、介護サポートに関するデジタルサービスを提供する企業
	23. 投薬・服薬管理		投薬・服薬管理に関するデジタルサービスを提供する企業
	24. コミュニティサポート		同一症状を持つ患者コミュニティの形成・運営に関するデジタルサービスを提供する企業
	D-5. 医療給付案内（医療保険加入・申請・給付） 企業、従業員個人・家族、に向けた、医療保険の加入・申請・給付の案内、手続きサポートに関するデジタルサービスを提供する企業	25. 医療給付案内（医療保険加入・申請・給付）	企業、従業員個人・家族、に向けた、医療保険の加入・申請・給付の案内、手続きサポートに関するデジタルサービスを提供する企業

お問い合わせ先

- ❑ サービスサイトURL
<https://da-sweep.com/>
- ❑ お問い合わせ先メールアドレス
sweep@dots-and.com
- ❑ 運営会社
dots. and株式会社
<https://dots-and.com/>

SWEEP

